

令和5年

災害の記録

鹿児島県

目 次

第1	災害の概況	1
第2	被害総括表	2
第3	降雨・台風災害等		
1	1月24日～25日 寒波	7
2	2月10日 大雨	12
3	4月6日～7日 大雨	17
4	4月19日～20日 大雨	22
5	5月11日 地震（最大震度4）	26
6	5月13日 地震（最大震度5弱）	27
7	5月18日～19日 大雨	28
8	5月22日 大雨	32
9	5月27日 地震（最大震度4）	36
10	6月1日 地震（最大震度4）	37
11	6月1日～2日 台風第2号	38
12	6月6日 大雨	47
13	6月8日 大雨	51
14	6月9日～10日 大雨	55
15	6月10日～12日 大雨	60
16	6月18日～19日 大雨	67
17	6月19日～20日 大雨	71
18	6月20日～26日 大雨	75
19	6月30日～7月2日 大雨	83
20	7月3日～5日 大雨	91
21	7月24日 大雨	100
22	8月1日～10日 台風第6号	104
23	8月18日 大雨	132
24	8月24日 大雨	137
25	9月9日 地震（最大震度4）	141
26	9月10日 落雷	142
27	9月10日 強風	146
28	10月8日～9日 大雨	150
29	10月27日 強風	155
30	11月11日 地震（大隈地方震度4）	159
31	11月11日 地震（十島村震度4）	162

第4	火山の活動状況	
1	桜島	163
2	霧島山（新燃岳，御鉢，えびの高原（硫黄山））	170
3	薩摩硫黄島	190
4	口永良部島	195
5	諏訪之瀬島	206
第5	参考資料	
1	令和5年災害気象名別被害額一覧表	218
2	令和5年災害年報	220
3	令和5年激甚災害の指定状況（内閣府）	223
4	令和5年台風発生状況（台風の発生数と接近・上陸数）	236
5	噴火警戒レベルとは	238
6	特別警報について	239

令和 5 年の鹿児島県内の天候の特徴

令和 5 年は、平年より気温の高い月が多く、3 月、7 月、9 月は記録的な高温となった地点があった。一方、8 月は奄美地方を中心に、10 月は薩摩・大隅、種子島・屋久島地方を中心に平年より気温が低く、記録的な低温となった地点があった。梅雨の時期の降水量は、九州南部ではほぼ平年並（平年比 102%）、奄美地方で平年よりやや多かった（平年比 134%）。台風の接近数は平年より少なく、九州南部 2 個（平年 3.9 個）、奄美地方 2 個（平年 4.3 個）であった。

表 1 鹿児島、種子島、名瀬における月別の平均気温、降水量、日照時間の平年との比較

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月平均気温	鹿児島	平年並	高い	かなり高い	高い	高い	平年並	高い	高い	かなり高い	低い	平年並	平年並
	種子島	平年並	高い	かなり高い	高い	高い	高い	高い	低い	かなり高い	低い	平年並	平年並
	名瀬	平年並	高い	高い	高い	平年並	平年並	高い	かなり低い	高い	平年並	平年並	平年並
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月降水量	鹿児島	平年並	多い	多い	多い	平年並	平年並	多い	多い	少ない	平年並	少ない	平年並
	種子島	平年並	平年並	平年並	平年並	少ない	多い	平年並	かなり多い	少ない	平年並	かなり少ない	平年並
	名瀬	少ない	平年並	少ない	多い	少ない	多い	平年並	かなり多い	かなり少ない	少ない	かなり少ない	平年並
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月日照時間	鹿児島	多い	平年並	平年並	平年並	かなり多い	平年並	平年並	少ない	多い	多い	かなり多い	平年並
	種子島	多い	平年並	多い	平年並	かなり多い	平年並	少ない	かなり少ない	多い	多い	多い	多い
	名瀬	かなり多い	多い	多い	多い	平年並	平年並	平年並	かなり少ない	多い	かなり多い	かなり多い	多い

1 月は、薩摩、大隅、種子島・屋久島地方では、上旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、中旬以降は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。14 日は大雨となった所があり、東市来 65.5 ミリ、牧之原 76.0 ミリ、吉ヶ別府 117.5 ミリ、鹿屋 79.5 ミリの日降水量を観測し、1 月の記録を更新した。下旬は寒気の影響で雪の降った日があり、24 日は鹿児島で積雪 4 センチを観測した。奄美地方では晴れた日もあったが、曇りや雨の日が多かった。月降水量は、薩摩、大隅、種子島・屋久島地方では屋久島で少なかったほかは平年並か多く、東市来 149.0 ミリ（平年比 197%、以下カッコ内は平年比）など、かなり多い地点があった。奄美地方では平年並か少なく、沖永良部 32.0 ミリ（35%）ではかなり少なかった。月日照時間は、中甕、屋久島、尾之間で平年並だったほかは多く、指宿、名瀬、古仁屋ではかなり多かった。月平均気温は、さつま柏原で低かったほかは平年並か高く、13 日から 14 日にかけて季節外れの暖かさとなった。1 月の日最高気温や日最低気温の高い方からの記録を更新した所があり、13 日は鹿児島 16.6℃、名瀬 19.9℃など 5 地点で、14 日は種子島 18.6℃、沖永良部 21.5℃など 10 地点で日最低気温を、14 日は伊仙 24.5℃、与論島 25.8℃、喜界島 24.9℃、天城 26.1℃で日最高気温を更新した。一方、24 日から 25 日は強い寒気の影響で平年を大きく下回る気温となり、季節風も強まり、24 日に最大風速を天城 19.9m/s、与論島 19.4m/s など 5

地点で、日最大瞬間風速も中種子 28.8m/s、天城 26.7m/s など 11 地点で 1 月の記録を更新した。

2 月は、薩摩、大隅、種子島・屋久島地方では、高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。奄美地方では期間の前半は前線や気圧の谷、寒気の影響で曇りや雨の日が多く、後半は数日の周期で天気が変わった。10 日に九州南部・奄美地方で春一番が吹き、大臼では日最大風速 11.1m/s、日最大瞬間風速 19.6m/s を観測し、それぞれ 2 月の記録を更新した。月降水量は、薩摩、大隅、種子島・屋久島地方では平年並か多く、尾之間 305.5 ミリ (178%) ではかなり多かった。奄美地方では平年並か少なく、伊仙 44 ミリ (44%) などかなり少ない地点があった。月日照時間は、薩摩、大隅、種子島・屋久島地方では内之浦、鹿屋、尾之間で少なかったほかは平年並か多く、中甕ではかなり多かった。奄美地方では全ての地点で多かった。月平均気温は、全ての地点で高く、指宿 11.7℃ (+1.9℃)、尾之間 15.1℃ (+1.8℃)、伊仙 17.3℃ (+1.8℃) などかなり高い地点があった。鹿児島市では 1 日にウメが開花した (平年より 1 日早い)。

3 月は、上旬から中旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、下旬は気圧の谷や前線、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、23 日は大雨となった所があった。月降水量は平年並か少ない地点が多かった。月日照時間は、薩摩、大隅、種子島・屋久島地方では田代で少なかったほかは平年並か多く、枕崎ではかなり多かった。奄美地方では全ての地点で多かった。月平均気温は、ほとんどの地点で平年よりかなり高く、屋久島 16.5℃ (+1.9℃)、上中 15.6℃ (+2.0℃)、尾之間 17.6℃ (+2.2℃)、輝北 12.0℃ (+2.2℃)、指宿 14.8℃ (+2.2℃) では高い方からの 3 月の記録を更新した。また、3 月の日最高気温や日最低気温の高い方からの記録を更新した所があり、22 日に枕崎 25.2℃、加世田 25.6℃ で日最高気温を、23 日に大臼 16.3℃、中種子 17.6℃ など 10 地点で日最低気温を更新した。鹿児島市では 24 日にソメイヨシノが開花した (平年より 2 日早い)。18 日に伊仙 21.1m/s、23 日に中之島 25.6m/s の日最大瞬間風速を観測し、3 月の記録を更新した。

4 月は、天気は数日の周期で変わり、6 日と 19 日、21 日は前線や湿った空気の影響で大雨となった所があった。月降水量は尾之間と伊仙で少なかったほかは平年並か多く、紫尾山 400.5 ミリ (156%)、八重山 364.0 ミリ (188%) ではかなり多かった。15 日に肝付前田で日最大 1 時間降水量 41.0 ミリ、19 日に喜界島で日降水量 146.5 ミリ、古仁屋で同 136.5 ミリ、名瀬で月最大 24 時間降水量 160.0 ミリを観測し、それぞれ 4 月の記録を更新した。月日照時間は、薩摩、大隅、種子島・屋久島地方では平年並か少なく、屋久島ではかなり少なかった。奄美地方では中之島で少なかったほかは平年並か多く、伊仙と沖永良部ではかなり多かった。月平均気温は、さつま柏原と肝付前田で平年並だ

ったほかは高く、阿久根 17.0℃(+1.3℃)、中甕 17.7℃(+1.5℃)、尾之間 19.6℃(+1.1℃)、笠利 21.1℃(+1.3℃)、天城 21.5℃(+1.5) など、かなり高い地点があった。鹿児島市では 5 日にソメイヨシノが満開となった(平年と同日)。2 日に笠利 24.2m/s、喜界島 22.2m/s、19 日に伊仙 11.7m/s、24 日に中之島 15.3m/s の日最大風速を観測したほか、日最大瞬間風速も 2 日に笠利 29.8m/s、喜界島 28.3m/s、19 日に伊仙 22.1m/s を観測し、それぞれ 4 月の記録を更新した。

5 月は、薩摩、大隅、種子島・屋久島地方では中旬にかけて天気は数日の周期で変わり、7 日、18 日は低気圧や前線、湿った空気の影響で大雨となった所があった。下旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、曇りや雨となった日もあった。奄美地方では天気は数日の周期で変わり、18 日と 22 日は大雨となった所があった。奄美地方は 18 日ごろ(平年より 6 日遅い)、九州南部は 30 日ごろ(平年と同じ)に梅雨入りしたとみられる。月降水量は、紫尾山 368.0 ミリ(123%)、八重山 286.0 ミリ(126%)、枕崎 277.0 ミリ(141%)、天城 258.0 ミリ(122%) で多かったほかは平年並か少なく、上中 115.0 ミリ(36%)、笠利 117.5 ミリ(51%)、喜界島 93.5 ミリ(43%) ではかなり少なかった。内之浦では 19 日に日最大 1 時間降水量 52.0 ミリを観測し、5 月の記録を更新した。月日照時間は、平年並か多く、薩摩、大隅、種子島・屋久島地方ではかなり多い地点があった。月平均気温は平年並か高かった。5 月の日最高気温や日最低気温の高い方からの記録を更新した所があり、28 日に東市来 31.8℃、30 日に志布志 31.7℃、喜入 32.9℃、天城 30.5℃で日最高気温を、30 日にさつま柏原 22.8℃、指宿 24.0℃など 8 地点で、31 日に古仁屋 26.2℃、天城 25.7℃で日最低気温を更新した。また、18 日に中甕 10.0m/s、川内 13.8m/s の日最大風速を観測したほか、日最大瞬間風速も川内 23.0m/s を観測し、それぞれ 5 月の記録を更新した。

6 月は、台風第 2 号や前線、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、1 日から 2 日、6 日、8 日から 11 日、13 日、17 日から 21 日と 30 日は大雨となった所があった。奄美地方は下旬の後半は高気圧に覆われて晴れた日が多く、25 日ごろに梅雨明けしたとみられる(平年より 4 日早い)。1 日から 2 日は台風第 2 号の接近で大荒れの天気となり、2 日に伊仙で日最大風速 15.1m/s、与論島で同 20.3m/s、志布志で日最大瞬間風速 16.7m/s、古仁屋で同 23.1m/s、伊仙で同 22.7m/s を観測し、それぞれ 6 月の記録を更新した。19 日と 20 日に奄美地方で線状降水帯が発生し、「顕著な大雨に関する気象情報」が発表された。19 日に沖永良部で日降水量 289.5 ミリ、21 日に古仁屋で同 270.5 ミリを観測し、6 月の記録を更新した。月降水量は、薩摩、大隅、種子島・屋久島地方では種子島 644.0 ミリ(116%)と尾之間 836.5 ミリ(119%) で多かった。奄美地方では全ての地点で多く、喜界島 643.0 ミリ(211%)、古仁屋 796.0 ミリ(201%)、沖永良部 608.0 ミリ(191%) ではかなり多かった。月日照時間は、薩摩、大隅、種子島・屋久島地方では肝付前田と内

之浦で多かったほかは平年並だった。奄美地方では平年並か少なかった。月平均気温は、薩摩、大隅、種子島・屋久島地方で平年並か高く、奄美地方では全ての地点で平年並だった。30日に枕崎 26.8℃、志布志 26.0℃、田代 26.4℃の日最低気温を観測し、高い方からの6月の記録を更新した。鹿児島市では1日にあじさいが開花した(平年と同じ)。

7月は、薩摩、大隅、種子島・屋久島地方では上旬は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、1日と3日は大雨となった所があった。中旬以降は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあり、23日は大雨となった所があった。九州南部は25日ごろに梅雨明けしたとみられる(平年より10日遅い)。奄美地方では上旬から中旬にかけて高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、1日と2日は湿った空気の影響で大雨となった所があった。2日に線状降水帯が発生し、「顕著な大雨に関する気象情報」が発表された。下旬は湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。月降水量は鹿児島 440.0 ミリ (121%)、八重山 477.0 ミリ (123%)、東市来 406.5 ミリ (131%) で多かったほかは、平年並か少なかった。月日照時間は、平年並か少なく、中之島と古仁屋ではかなり少なかった。月平均気温は、薩摩、大隅、種子島・屋久島地方では平年並か高く、川内 28.1℃ (+1.1℃) や屋久島 27.9℃ (+0.9℃) などかなり高い地点があった。川内では高い方からの7月の記録を更新した。奄美地方では全ての地点で高かった。8日に肝付前田で日最低気温 27.8℃、26日に川内で日最高気温 36.2℃を観測し、それぞれ高い方からの7月の記録を更新した。

8月は、上旬は台風第6号や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、5日、7日から9日は大雨となった所があった。中旬以降は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、低気圧や湿った空気の影響で曇りや雨の日があり、17日から18日は大雨となった所があった。月降水量は薩摩地方では紫尾山で少なかったほかは平年並か多く、牧之原 732.5 ミリ (238%) と指宿 411.5 ミリ (282%) ではかなり多かった。大隅地方、種子島・屋久島地方、奄美地方ではほとんどの地点でかなり多く、田代 913.0 ミリ (288%)、上中 580.5 ミリ (315%)、尾之間 866.5 ミリ (358%) など、7地点で8月の記録を更新した。9日に種子島・屋久島地方で線状降水帯が発生し、「顕著な大雨に関する気象情報」が発表された。9日の日降水量は、佐多 364.5 ミリで年間の記録を更新したほか、田代 388.5 ミリ、尾之間 303.0 ミリなど7地点で8月の記録を更新した。また、屋久島で月最大24時間降水量 483.5 ミリ、大隅で日最大1時間降水量 61.0 ミリ、尾之間で同 54.0 ミリを観測し、それぞれ8月の記録を更新した。台風第6号の接近に伴い、2日に与論島で日最大瞬間風速 38.1m/s、8日に志布志で 23.5m/s、肝付前田で 28.7m/s、9日に輝北で 25.4m/s を観測し、それぞれ8月の記録を更新した。月日照時間は、平年並か少なく、種子島・屋久島地方と奄美地方ではかなり少ない地点があった。月平均気温は、薩摩、大隅地方では平年並か高く、大口 27.2℃ (+0.9℃) ではかなり高かった。種子島・

屋久島地方、奄美地方では平年並か低く、笠利で 28.0℃ (-0.9℃) と 8 月の低い方からの記録を更新した。5 日に大口で日最低気温 26.0℃を観測し、高い方からの年間の記録を更新した。

9 月は、高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、奄美地方の下旬は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。月降水量は、内之浦 242.0 ミリ (69%) で平年並だったほかは少なく、かなり少ない地点が多かった。宝島 18.5 ミリで年間の少ない方からの記録を更新したほか、屋久島 56.0 ミリ (12%)、平島 67.0 ミリ、小宝島 48.5 ミリでは 9 月の少ない方からの記録を更新した。月日照時間は、中甕と古仁屋で平年並だったほかは多く、かなり多い地点があった。月平均気温は、ほとんどの地点でかなり高く、鹿児島 28.3℃ (+2.0℃)、種子島 27.2℃ (+1.0℃)、沖永良部 28.6℃ (+1.0℃) など 23 地点で 9 月の高い方からの記録を更新した。また、4 日に志布志 35.7℃、鹿屋 35.8℃、肝付前田 35.7℃、指宿 35.3℃、内之浦 34.6℃の日最高気温を観測し、9 月の高い方からの記録を更新した。

10 月は、上旬は低気圧や前線、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、4 日と 8 日は大雨となった所があった。中旬以降は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。月降水量は、平年並か多い地点が多かったが、名瀬 122.5 ミリ (47%) と伊仙 66.0 ミリ (41%) では少なく、沖永良部 37.5 ミリ (22%) と与論島 42.0 ミリ (24%) ではかなり少なかった。4 日に中之島で日降水量 177.0 ミリ、8 日に平島で日最大 1 時間降水量 49.0 ミリ、14 日に諏訪之瀬島で同 37.5 ミリを観測し、それぞれ 10 月の記録を更新した。月日照時間は、全ての地点で多く、かなり多い地点があった。月平均気温は、薩摩、大隅、種子島・屋久島地方では阿久根で平年並だったほかは低く、中種子 19.4℃ (-1.3℃) で 10 月の低い方からの記録を更新した。奄美地方では与論島 25.8℃ (+0.4℃) で高かったほかは、平年並か低かった。4 日に伊仙で日最高気温 32.5℃、8 日に伊仙で日最低気温 27.4℃、与論島で同 27.8℃を観測し、それぞれ 10 月の高い方からの記録を更新した。鹿児島市では 16 日にススキが開花した (平年より 10 日遅い)。

11 月は、薩摩、大隅、種子島・屋久島地方では高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、上旬の後半から中旬にかけては天気が数日の周期で変わった。奄美地方では高気圧に覆われて晴れた日もあったが、気圧の谷や湿った空気、寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。月降水量は、薩摩、大隅地方では平年並か少なく、種子島・屋久島地方と奄美地方ではかなり少ない地点が多く中種子 67.0 ミリ (40%)、中之島 62.5 ミリ (24%) など 6 地点で 11 月の少ない方からの記録を更新した。月日照時間は、全ての地点で多く、かなり多い地点があった。月平均気温は、喜入 14.8℃ (-0.7℃) と内之浦 15.1℃ (-0.3℃) で低かったほかは平年並だった。11 月の日最高気温の高い方からの記録を

更新した所があり、2日に大口 28.2℃で、5日に枕崎 28.0℃など4地点で、6日に中種子 26.4℃など4地点で記録を更新した。18日は冬型の気圧配置が強まり、最大風速を種子島 23.5m/s、尾之間 17.7m/s など7地点で、日最大瞬間風速を尾之間 29.7m/s、中種子 26.7m/s など9地点で11月の記録を更新した。鹿児島市では20日にイチョウの黄葉（平年より5日早い）、27日にイロハカエデの紅葉（平年より18日早い）が観測された。

12月は、薩摩、大隅、種子島・屋久島地方では天気は数日の周期で変わり、中旬は気圧の谷や前線、寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。17日と21日から23日は寒気の影響で雪の降った所があった。奄美地方では曇りや雨の日が多かった。鹿児島では21日に初雪（平年より16日早い）、桜島の初冠雪（平年より3日遅い）、22日に初氷（平年より7日遅い）、24日に初霜（平年より9日遅い）を観測した。月降水量は、薩摩、大隅、種子島・屋久島地方では田代 81.5ミリ（83%）で少なかったほかは平年並か多く、尾之間では 319.0ミリ（266%）と12月の月降水量の多い方からの記録を更新した。11日には尾之間で日降水量 250.5ミリ、日最大1時間降水量 45.0ミリを観測し、それぞれ12月の多い方からの記録を更新した。奄美地方の月降水量は、笠利 145.0ミリ（136%）で多かったほかは平年並だった。19日に宝島で日最大1時間降水量 39.5ミリを観測し、12月の記録を更新した。月日照時間は、さつま柏原、川内、尾之間で少なかったほかは平年並か多かった。月平均気温は、薩摩、大隅、種子島・屋久島地方では阿久根 10.7℃（+0.7℃）で高かったほかは平年並だった。奄美地方では中之島 13.9℃（+0.8℃）と名瀬 17.3℃（+0.6℃）で平年並だったほかは高かった。12月の日最高気温や日最低気温の記録を更新した所があり、日最高気温は11日に笠利 26.8℃、15日に肝付前田 26.3℃など9地点で、日最低気温は15日に東市来 17.5℃で12月の高い方からの記録を更新した。一方、23日は内之浦で日最低気温-2.8℃を観測し、12月の低い方からの記録を更新した。17日に輝北で最大風速 12.1m/s、31日に大口で日最大風速 8.7m/s、日最大瞬間風速 15.1m/s を観測し、それぞれ12月の極値を更新した。鹿児島市では3日にイチョウの落葉（平年より3日早い）、11日にイロハカエデの落葉（平年より13日早い）が観測された。

1年間の平均気温は、鹿児島 19.5℃（+0.7）、阿久根 18.3℃（+0.8）、枕崎 19.0℃（+0.7）、屋久島 20.3℃（+0.7）、種子島 20.2℃（+0.4）、名瀬 22.1℃（+0.3）、沖永良部 23.1℃（+0.5）と平年より高かった。年間の降水量は、鹿児島 2510.0ミリ（103%）、阿久根 2154.0ミリ（96%）、枕崎 2311.0ミリ（99%）、屋久島 4661.0ミリ（100%）、種子島 2488.0ミリ（98%）、名瀬 2895.5ミリ（99%）、沖永良部 1723.5ミリ（93%）と平年並の地点が多かった。年間の日照時間は、鹿児島 2102.3時間（108%）、阿久根 2144.0時間（110%）、枕崎 2079.8時間（109%）、屋久島 1578.8時間（104%）、種子島 1907.2時間（105%）、名

瀬 1419.0 時間 (107%)、沖永良部 2002.5 時間 (108%) と平年並か多かった。

第1 災害の概況

令和5年中の災害では、負傷者10人の人的被害があり、災害による被害総額は、約169億円（桜島降灰被害を除く）で、そのうち、台風第6号による被害額が約66億円で全体の約39%、6月30日からの大雨による被害額が約26億円で全体の約15%となった。

○ 降雨災害

梅雨期間等の雨により、人的被害（負傷）、床上・床下浸水などの住家被害が発生した。

○ 台風災害

令和5年中に本県に被害をもたらした台風は2個あり、被害総額は約66億円であった。

○ その他の被害

寒波、地すべり等により、農産被害や公共土木施設の被害が発生した。

◆ 災害種別被害額

令和5年被害総額 16,889,977千円

種 類	被害額（千円）
降 雨 災 害	7,595,430
台 風 災 害	6,565,695
その他災害	2,728,852
合 計	16,889,997

◆ 令和5年の梅雨時期

鹿児島地方 5月30日～7月25日

種子島・屋久島地方 （6月10日～7月22日）

奄美地方 5月18日～6月25日

（5月5日～6月22日）

※（ ）内は、令和4年の梅雨時期

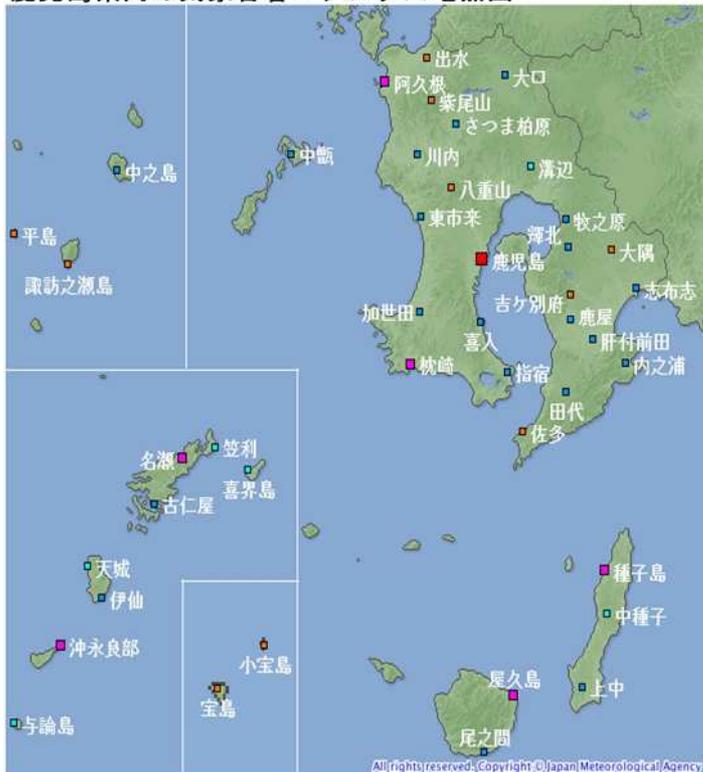
第2 被害総括表

区 分				被害数	単位	被害額(千円)	区 分				被害数	単位	被害額(千円)
人 的 被 害	死 者				人		衛 生 福 祉 関 係 の 被 害	病院・診療所等				棟	
	行方不明				人			水道施設				箇所	
	重 傷 者		3		人			清掃施設				〃	
	軽 傷 者		7		人			福祉施設				〃	
	合 計		10		人			そ の 他				〃	
住 家 被 害	全 棟	棟 数			棟		農 作 物 の 被 害	水 陸 稲		624.05	ha	50,986	
		世 帯 数			世帯			麦 類			〃		
	壊 半	人 員			人			雑穀いも豆類		251.4	〃	9,175	
		棟 数	1		棟			野 菜		2531.17	〃	2,821,992	
	壊 一 部 破 損	世 帯 数	1		世帯			果 樹		140.4	〃	101,857	
		人 員	1		人			工 芸 作 物		8391	〃	311,467	
	床 上 浸 水	棟 数	53		棟			飼料用作物		570.68	〃	77,067	
		世 帯 数	53		世帯			花 き		16.25	〃	40,102	
		人 員	96		人			桑			〃		
	床 下 浸 水	棟 数	39		棟			茶			〃		
		世 帯 数	57		世帯			そ の 他			〃		
		人 員	75		人			合 計		12,525	〃	3,412,646	
合 計	棟 数	168		棟	耕 地	田		252	箇所	434,500			
	世 帯 数	168		世帯		農 (流出埋没)		68.56	ha				
	人 員	272		人	畑		356	箇所	980,000				
	棟 数	261		棟	(流出埋没)		70.92	ha					
公 非 共 建 住 家 被 害 他	棟 全 半 壊	棟 数	3		棟	農 業 用 の 施 設 の 被 害	た め 池			箇所			
		世 帯 数			世帯		農 頭 首 工		8	〃	122,000		
	人 員	272		人	水 路		256	〃	1,064,500				
	棟 数	261		棟	道 路		236	〃	833,000				
	世 帯 数	279		世帯	橋りょう			〃					
	人 員	444		人	堤 とう			〃					
	棟 数	29		棟	揚 水 機			〃					
棟 数	29		棟	そ の 他			〃						
世 帯 数			世帯	合 計		1,108	〃	3,434,000					
人 員	444		人	家畜等の被害		11107	件	13,093					

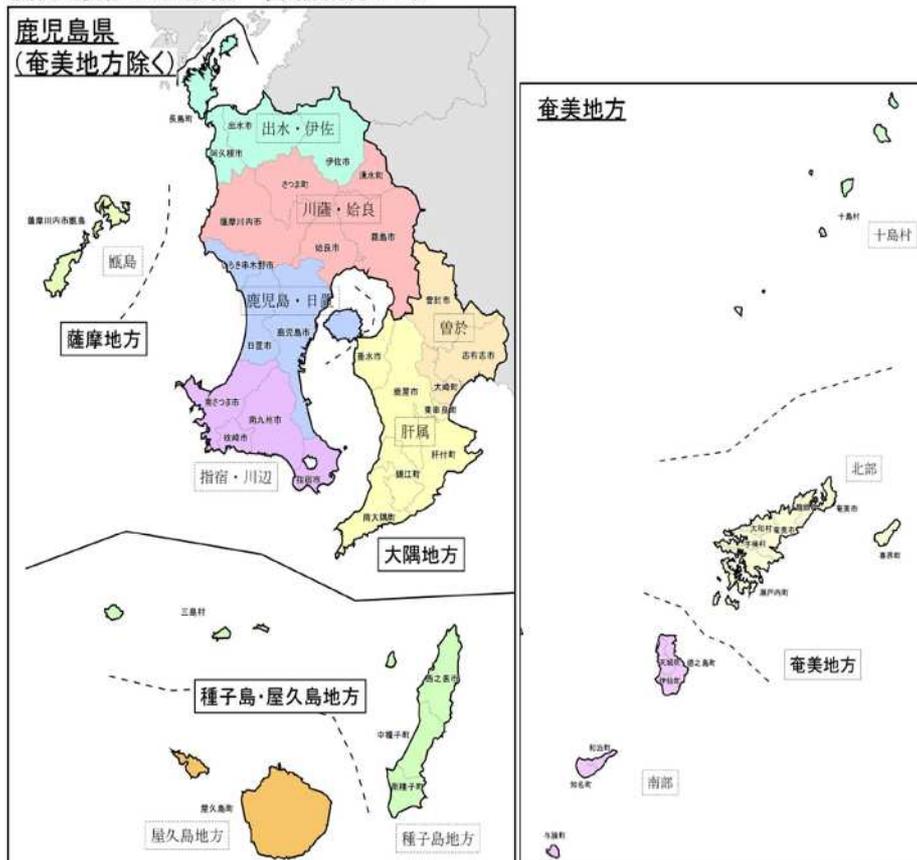
区 分		被害数	単位	被害額(千円)	区 分	被害数	単位	被害額(千円)		
農 業 生 産 用 資 材 施 設	耕種関係	2	棟	1,200	土 庫 負 担 関 係 対 象 の 被 害	国 交 省 港 湾	県工事	3	箇所	491,626
	畜産関係	58	〃	22,778			市町村	2	〃	110,983
	蚕糸関係		〃				小計	5	〃	602,609
	園芸関係	188	〃	76,473		農 水 省 漁 港	県工事		〃	
	その他	2	〃	1,248			市町村	1	〃	71,413
	合計	250	〃	101,699			小計	1	〃	71,413
水 産 関 係 の 被 害	漁船	3	隻	292	被 害	合計	341	〃	8,323,407	
	漁具		統			その他	180	〃	187,502	
	施設その他	22	件	64,430		総計	521	〃	8,510,909	
	合計	25		64,722						
鉱工業関係被害			件		学 校 関 係 の 被 害	高等学校	5	校	1,970	
商 業 関 係 の 被 害	店舗		棟			中学校		〃		
	その他施設	5	件	4,603		小学校		〃		
	商品	13	件	2,220		その他	36	〃	34,837	
	合計	18		6,823		合計	41	〃	36,807	
山 林 関 係 の 被 害	林地(崩壊地)	9	箇所	720,300	その他の公共施設被害		6	箇所	13,056	
	施 被 設 害 等	治山施設	13	〃	121,600	鉄 道 関 係 の 被 害	鉄軌道関係		件	
		林道	182	〃	1,174,418		線路工作物関係		〃	
		林産施設	1	〃	2,410		停車場工作物関係		〃	
	林産物	1.44	ha	4,449	機械関係			〃		
	合計	205	箇所	2,023,177	建築物関係			〃		
土 木 関 係 の 被 害	国 土 庫 交 通 担 対 所 象 管 事	河川	112	箇所	2,644,623		電気通信関係被害		回線	
		県砂防	2	〃	31,553	電力関係被害		戸		
		道路	55	〃	2,078,253	水道関係被害		〃		
		工急傾斜		〃		警察関係の被害		件		
		橋りょう	1	〃	56,597	交通安全施設の被害	41	〃	6,418	
		事海岸		〃		その他の被害		〃		
		その他		〃		被 害 総 額	25,846	17,616,695		
		小計	170	〃	4,811,026					
		市河川	51	〃	651,386					
		町道路	114	〃	2,186,973					
		村橋りょう		〃						
工その他		〃								
小計	165	〃	2,838,359							

※本表には、令和6年度中に確定した過年災（地すべり等）の数値を含んでいます。

鹿児島県内の気象官署・アメダス地点図



鹿児島県の注意報・警報細分区域



内容に関する説明

1. 雨の降り方の表現

1 時間雨量が 30 ミリ以上 50 ミリ未満の場合、「激しい雨」

1 時間雨量が 50 ミリ以上 80 ミリ未満の場合、「非常に激しい雨」

1 時間雨量が 80 ミリ以上の場合、「猛烈な雨」

また、期間の雨量が 100 ミリ以上を「大雨」という。

2. 表中の数値の補足

「 - 」の表示は「欠測値」を意味する。

3. 平年値について

1991 年～2020 年の平均値を使用している。

4. 観測値の極値について

2023 年までの値を使用している。

九州南部及び奄美の梅雨入りと梅雨明け

年	九州南部		奄美	
	梅雨入り	梅雨明け	梅雨入り	梅雨明け
2000年	5月26日ごろ	7月15日ごろ	5月26日ごろ	6月21日ごろ
2001年	5月21日ごろ	7月20日ごろ	5月6日ごろ	6月23日ごろ
2002年	6月10日ごろ	7月21日ごろ	5月8日ごろ	6月30日ごろ
2003年	6月9日ごろ	7月22日ごろ	5月13日ごろ	6月27日ごろ
2004年	5月29日ごろ	7月11日ごろ	5月14日ごろ	6月24日ごろ
2005年	6月11日ごろ	7月15日ごろ	5月5日ごろ	6月27日ごろ
2006年	5月26日ごろ	7月25日ごろ	5月11日ごろ	6月22日ごろ
2007年	6月1日ごろ	7月18日ごろ	5月26日ごろ	6月28日ごろ
2008年	5月28日ごろ	7月6日ごろ	5月22日ごろ	7月2日ごろ
2009年	6月2日ごろ	7月12日ごろ	5月18日ごろ	7月5日ごろ
2010年	6月12日ごろ	7月20日ごろ	5月6日ごろ	7月15日ごろ
2011年	5月23日ごろ	7月8日ごろ	4月30日ごろ	6月22日ごろ
2012年	5月30日ごろ	7月23日ごろ	5月13日ごろ	6月29日ごろ
2013年	5月27日ごろ	7月8日ごろ	5月10日ごろ	6月29日ごろ
2014年	6月2日ごろ	7月16日ごろ	5月5日ごろ	7月4日ごろ
2015年	6月2日ごろ	7月14日ごろ	5月19日ごろ	7月6日ごろ
2016年	5月24日ごろ	7月18日ごろ	5月16日ごろ	6月18日ごろ
2017年	6月6日ごろ	7月13日ごろ	5月13日ごろ	6月29日ごろ
2018年	6月5日ごろ	7月9日ごろ	5月27日ごろ	6月26日ごろ
2019年	5月31日ごろ	7月24日ごろ	5月14日ごろ	7月13日ごろ
2020年	5月30日ごろ	7月28日ごろ	5月17日ごろ	7月20日ごろ
2021年	5月11日ごろ	7月11日ごろ	5月5日ごろ	7月3日ごろ
2022年	6月10日ごろ	7月22日ごろ	5月5日ごろ	6月22日ごろ
2023年	5月30日ごろ	7月25日ごろ	5月18日ごろ	6月25日ごろ
平年	5月30日ごろ	7月15日ごろ	5月12日ごろ	6月29日ごろ